

生態系アセスメント グループワークプロジェクト

～横浜周辺の在来野生生物に関する HSI モデルを作ろう～

第 2 学年対象、2017 年度 後期前半、木曜 1.2 限

ー引用文献リスト作成に関してー

次頁から、田中章研究室「卒業研究のための執筆規定」より引用文献リスト作成に関わる部分の抜粋を転載する。

最終課題（HSI モデル文書）の本文中の引用および巻末の引用文献リスト作成に際して、以下の形式を参照すること

(7) 引用文献

<本文中の引用について>

本文中の引用は「田中（1995）によれば…」、「…と指摘されている（島津，1997）。」のように表示すること。共著の場合、本文中では著者が3名以内の場合は（鷺谷，矢原，1996）のように著者を全員列記し、4名以上の場合は、（田中ほか，2005）もしくは（田中ら，2005）と記載すること。本文中でこのような引用が示されていない文献が「引用文献」にリストアップされることはあり得ない。「(漠然と) 参考にした」程度の文献は参考文献リストを作りそちらに掲載すること。

<本文の後に付ける引用文献リストについて>

引用文献のリストアップは日本語文献、英語文献の順序とする。日本語文献リスト、英語文献リストの間は1行空けること。

文献はまず日本語文献によるものを、雑誌、単行本、インタビュー調査、Webなどを問わず執筆者等の姓の50音順に整理する。英語文献によるものも、同様に姓のアルファベット順に整理する。英語の氏名は、「last name, first name, middle name」の順で示すこと。共著者が異なる場合も含め、引用文献の最初に記載されている執筆者が同じのものは年代の古い順に並べるが、同一年のものは、引用順に「(1994a)」などのように年代の後にa、b、c…を付して並べること。本文中で引用が示されていない文献が「引用文献」にリストアップされることはあり得ない。もし、「(漠然と) 参考にした」程度の文献も掲載したい場合は、引用文献リストと別に「参考文献リスト」を作成し、そちらに掲載すること。

以下に引用文献表記の例を挙げる。なお、注意事項として引用文献をリストアップする時に1つの文献情報が2行以上にまたがる場合は、1行目が、全角文字ならば2文字分、半角文字ならば4文字分突出するようにインデントを設定すること。本文出版社名では株式会社は省いて記載すること。出版社名がなく発行社名があるときは、発行社名を出版社名と同様に扱うこと。改訂版がある文献の場合は、改訂年を発行年として記載すること。

英語文献も、基本的には日本語文献の場合と同じである。

雑誌や単行本で既に発表されている内容の場合、ウェブサイトの引用ではなく、紙媒体のオリジナル論文を引用すること。単行本とはISBNコードを有する単独ないしは複数の執筆者により構成された書籍を指す。またウェブサイトの情報を引用文献として使用する際、後に提出が必要となる場合があるので、個人の責任でその部分のハードコピーを保管すること。

a. 雑誌中の論文の場合

著者名（発表年）論文名．掲載雑誌名，掲載巻号（巻だけのものは Vol. 1、号だけのものは No. 1 のように書く），掲載ページ最初-最後．

田中章（1995a）環境アセスメント制度におけるミティゲーション制度．人間と環境，21(3)，154-159．

Savage, Nail(1986) The mitigation predicament. Environmental Management, 10(3), 319-320.

b. 単行本の場合

ア. 単著の場合

著者名（発行年）書名．出版社名，出版社所在地（都道府県名を記載），総ページ数．

原科幸彦（1994）環境アセスメント．財団法人放送大学教育振興会，東京都，283pp.

Gillespie. John K. (2005) Japan a short history : Ladder series Level 5. IBC publishing : Distributed by Yohan, Tokyo, 144pp.

※監修者しかいない場合は、監修者名を著者名のところに記載する。

イ. 共著の場合

著者名（発行年）書名．出版社名，出版社所在地（都道府県名を記載），総ページ数．

鷲谷いづみ，矢原徹一（1996）保全生態学入門．文一総合出版，東京都，271pp.

大手信人，柴田昌三，宮前保子，小林緑子，丸橋裕一（1999）ランドスケープデザインと環境保全．角川書店，東京都，153pp.

Murphy Pat, Doherty Paul, Neill William（1996）The color of nature. Chronicle Books, San Francisco, 143pp.

ウ. 編者もしくは監修者がいる単行本の中の著書の場合

著者名（発行年）題目．掲載ページ最初-最後，編者（監修者）名，書名．出版社名，出版社所在地（都道府県名を記載），総ページ数．

田中章（1998）生態系評価システムとしてのHEP. 81-96, 島津康男編，環境アセスメントここが変わる．環境技術研究協会，大阪府，432pp.

※編者及び監修者がともにいる場合は、編者と監修者を両方記載する。

エ. 訳書（原著者1人）の場合

原著者名（訳書出版年）訳書名. 訳者名, 訳書出版社, 訳書出版社所在地（都道府県名を記載）, 訳書総ページ数. [原著者名（原書出版年）原書名. 原書出版社, 原書出版社所在地, 原書総ページ数.]

M.メサロビッチ=E.ペステル（1990）転機に立つ人間社会：ローマ・クラブ第2のレポート. 大来佐武郎・茅陽一（訳）, ダイヤモンド社, 東京, 197pp. [Mesarovic,Mihailo D. and Eduard Pestel（1975）Mankind at the Turning Point. The Second Report to the Club of Rome. Hutchinonson, London, 244pp.]

オ. 訳書（編集者がいる原書）の場合

原著者名（訳書出版年）題目. 訳書掲載ページ, 訳者名, 訳書名, 訳書出版社, 訳書出版社所在地（都道府県名を記載）, 訳書総ページ数. [原著者名（原書出版年）原書名. 原書出版社, 原書出版社所在地, 原書総ページ数.]

マクハーグ（1995）第5章ポドマック川流域. p100-130, 武蔵太郎（訳）, エコロジカル・プランニング. 武蔵次郎（編集）, B社, 東京, 200pp. [Mcharg（1970）Ecological Planning. Publisher-A, Washington, 300pp.]

c. テキストの場合

著者名（発行年）題目. テキスト名, 出版社名, 出版社所在地（都道府県名を記載）, 総ページ数.

Russell, David（1999）環境監査の本質. ウェールズ大学通信制大学院環境マネジメントシステム監査コース モジュール1, 北川啓也監訳, ウェールズ大学日本事務局, 石川県, 146pp.

d. 新聞の場合

収録新聞社名（発行年）タイトル. 出版社所在地（都道府県名を記載）, 収録年月日. 朝刊か夕刊か日刊, 記載ページ.

伊豆新聞（2015）「里海バンキング」を. 静岡県, 2015.9.12. 日刊, 3.

e. パンフレットの場合（なるべく使用しないこと）

著者名（発行年）記事のタイトル, 発行社, 発行社所在地（都道府県名を記載）, パンフレットの名称, 掲載巻号, 記載ページ最初-最後.

平石真司（1993）鳥山公園の愛護会かつどうについて, 鳥山公園愛護会, 神奈川県, 鳥山公園愛護会の紹介, 1-2.

f. インタビューの場合

インタビュー対象者名（インタビュー実施年）所属，インタビュー手段および場所を明記．インタビュー実施年月日．

田中章（2004）武蔵工業大学環境情報学部助教授，インタビュー．環境情報学部横浜キャンパス．
2004.1.1.

田中章（2004）武蔵工業大学環境情報学部助教授，電話にてインタビュー．2004.1.1.

g. ウェブサイト上の情報の場合

執筆者名（ウェブを見た年）見たページのタイトル．URL，本 Web を見た年月日．

環境省（2000）環境影響評価情報支援ネットワーク．<http://www.eic.or.jp/eanet/assessment/>，
2000.7.12.

環境省（2003）自然共生型地域づくり事業．

<http://www.env.go.jp/nature/biodic/eap62/index.html>，2003.11.28.

国土技術政策総合研究所（2003）緑化生態研究室．

<http://www.nilim.go.jp/lab/ddg/index.htm>，2003.11.10.